

2021年6月16日
愛媛トヨタ自動車株式会社

「カーボンニュートラル基金」の設立について

愛媛トヨタ自動車株式会社（松山市宮田町 109-1、代表取締役社長/大城戸圭一 以下 愛媛トヨタ）は、2021年7月1日「カーボンニュートラル基金」を設立いたします。同基金は、カーボンニュートラルに貢献する車両であるプラグインハイブリッド車とハイブリッド車、電気自動車※①、燃料電池車※①を販売する度に、売上の一部を積み立てるものです。

年間で積み立てられた基金は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する「社会課題解決」の一助となる活動支援や「地球環境保全」の支援などに役立てる予定です。

愛媛トヨタは同基金設立を機に、さらにお客様や地域の皆様とともに環境負荷低減に貢献する車両の普及に努め、ふるさと愛媛の持続可能な地域社会づくりに取り組んでまいります。

<同基金設立日>

2021年7月1日

<同基金へ売上の一部を積み立てる対象車種>

- プラグインハイブリッド車（PHV）
- ハイブリッド車（HV）
- 電気自動車（EV）※①
- 燃料電池車（FCV）※①

再エネが少ない今の日本では、「自動車をつくるとき」「完成して運ぶとき」「走行するとき」「破棄・リサイクルするとき」のライフサイクル全体でCO₂の排出を減らさなければカーボンニュートラルは達成できません。LCA※②でのCO₂の排出量と水素社会の実現に向けて、同基金の積立額を動力別に設定しています。

動力別 LCA(ライフサイクルアセスメント)でのCO₂排出量



<試算前提>
・年間走行1.5万km・使用期間10年
・EVは電池容量80kWh、PHVは10.5kWhEV走行6割前提

IEA(国際エネルギー機関) Global EV Outlook 2020を基に作成

※①現在、愛媛県におきましては該当商品の取扱いはありません。※②LCA(Life Cycle Assessmentライフサイクルアセスメント)とは、商品やサービスの原料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通しての環境負荷を定量的に算出する方法。

愛媛トヨタ創立81年。その歩みは、出会ってきた愛媛のすべての皆さまのおかげです。心より感謝いたします。「幸せを、乗せて」をテーマに、「カーボンニュートラル」につきましても、ひとりひとりの意識を高め、正しく理解し、取り組んでまいります。



今回の取組みを通じて、特に貢献可能なSDGsの目標



【 お問い合わせ：愛媛トヨタまちいち活動支援室／岡井 TEL089-941-5171 】

以上